

遠江板倉守太遠出言守トシテ者共敗軍の敵ト
下して母とゆけ地ぢれと者共と清言ナク人数を
へて落部くもけける成政之を見てつとれ方士式上勢
より立てられ敗れせし無口掃くあつて集等が後
たつ方共を待たし追かゝるゝあて返えとす事決定
なり誠の上杉家の名士程りけるも若者共はよく見
て老佐の物語もあつてナレバ諸軍遠く退いて
之と感ど其夜歌方より杉崎肥後守宇代より上杉金王
忠兵衛松後主殿とあつて軍持物氏十七人甲首三百

七二新兵共より七五二六之ちより首級計一し
高き湯澤を吟味するも及ぶと敗軍をばさる事
多しと各体合するも後ハ城中より打てあつて
さうして其叫のり流石の音千雷の如く諸軍又込へて返
しぬくもさうしてさうして成政將の思案し物氏老功の侍共
を近く集うてさうして陣取たる勢を後より城を押し
味方敗少くもあつて堅く攻め成合ふとぞと割て
心附く備へ堅く立て自しまつて是ハ城を攻め
共共此共ハ敵と出でし時城より度まで二十餘所隔